

成人看護学方法論Ⅱ	2年・後期	1単位	教授 本吉 美也子
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210642

1. 授業のねらい・概要

本科目は成人期のアレルギー、膠原病、感染症、性・生殖器・腎・泌尿器、運動器、脳・神経系疾患患者の急性期及び慢性期における病態の復習を行いながら、その病態にある患者への看護支援について学習する。

2. 到達目標

1. 各病態の代表的な疾患についてアセスメントでき、もたらされた健康障害が日常生活にどのように影響するのかを理解することができる。
2. 各病態の急性期・慢性期に応じた看護のポイントが理解できる。
3. 各疾患の予防、および健康障害を抱えながら日常生活を送る患者の教育指導について考えることができる。

3. 授業の進め方

授業はテキストを活用し講義中心に進めるが、視聴覚教材も多く取り入れ、印象深く学べるようにする。また実践での看護に役立つよう事例も用い、実際の看護ケアについても考える。

4. 授業計画（講義）

1. アレルギー疾患患者の病態と看護（本吉美也子）	9. 運動器系疾患の病態と看護①急性疾患（本多恵子）
2. 膠原病患者の病態と看護（本吉）	10. 運動器系疾患の病態と看護②慢性疾患（本多）
3. 感染症患者の病態と看護（本吉）	11. 運動器系疾患の病態と看護③リハビリ期（本多）
4. 性・生殖器系患者の病態と看護（乳房・子宮疾患等）（本吉）	12. 脳・神経系疾患の病態と看護①症状・障害の理解（本吉）
5. 腎・泌尿器・生殖器系疾患の病態と看護（腎臓・尿路・前立腺疾患等）（本吉）	13. 脳・神経系疾患の病態と看護②急性期の看護（本吉）
6. CKD（慢性腎臓病）の病態と看護①（慢性腎不全）（本吉）	14. 脳・神経系疾患の病態と看護③慢性期の看護（本吉）
7. CKD（慢性腎臓病）の病態と看護②（透析療法）（本吉）	15. 脳・神経系疾患の病態と看護④代表的疾患の看護（本吉）
8. CKD（慢性腎臓病）の病態と看護③（腎移植）（本吉）	

5. 成績評価の方法・基準

学期末の試験 100%で評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：系統看護学講座 成人看護学[7] [8][9] [10][11] 医学書院

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの範囲をみて、関連するテキストで事前学習して望むこと。
予習・復習に各1時間以上を要する。

8. 受講上の留意事項

授業内容を確認し、関連するテキストを持参すること。
人体の構造と機能および疾病論の知識を必要とするので、それらの関連する内容を復習した上で授業に臨むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験終了後、口頭または掲示で解答や解説を周知する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、習得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師、教育機関における成人看護学教育の経験を活かして講義を行う。